

弥生地区学校運営協議会・佐伯市立昭和中学校（8学級213人）、明治小学校（9学級182人）、上野小学校（8学級132人）、切畑小学校（7学級88人）

## 背景・取組概要

弥生地区学校運営協議会では、「ふるさとを愛し、未来を切り開く弥生っ子の育成」を長期ビジョンに掲げ、育成を目指す資質・能力を明確化・共有するとともに、弥生ネットワーク会議（地域学校協働活動）との連携を図りながら、多様な学習活動を推進している。

## 工夫・ポイント

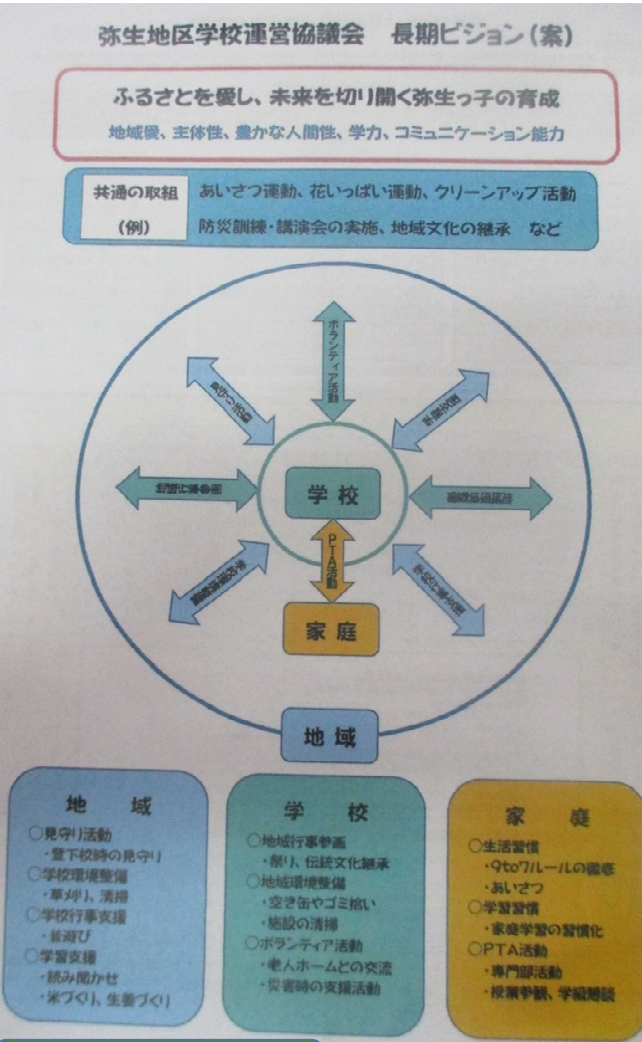
- ◆ 弥生地区協育コーディネーターが学校運営協議会委員に任命され、ネットワーク会議の取組との一体的な推進を図っている。
- ◆ 学力向上を4校の共通課題とし、それに関する取組を共通設定している。
- ◆ 各学校のCS年間活動計画に「学校の地域貢献」を設け、学校を核とした地域づくりに向けた取組を進めている。

## 特徴的な活動

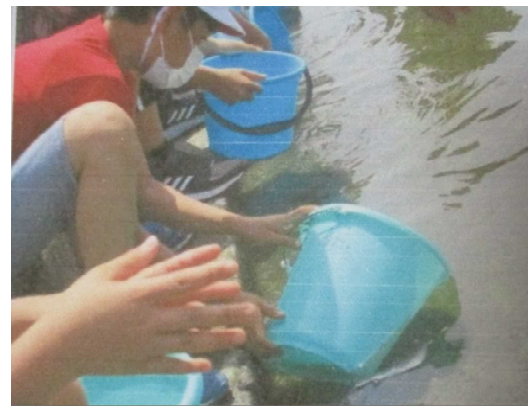
- ◆ ふるさと学習において、地域人材や教育資源の活用、多様な体験活動等を実施している。（生姜の植え付け・収穫、鮎の放流等）→コロナ禍においても充実した体験活動が実現できている。
- ◆ 各学校における防災学習を充実させるとともに、CSが主催して弥生地区合同災害引き渡し訓練を行っている。

## 関係者の声

- ◆ 校区ネットワーク会議の学校支援事業により、多様な体験活動が実施できており、子どもたち・ボランティアともに関わり合うことを楽しみにしています。
- ◆ 保護者や地域が学校をしっかり応援して、子どもたちの成長につなげていきたいです。



長期ビジョンの承認



鮎の放流



鮎に関する学習